

平成28年10月 教育委員会会議録（要旨）【10月27日（木）】

<p>〔開会の宣告〕 岡教育長</p>	<p>平成28年10月定例教育委員会会議を開会する。</p>
<p>〔会議の成立〕 岡教育長</p>	<p>本日は、私の他5人の委員が出席しているので、この会議は成立する。 会議録署名人は、泉委員と出川委員とする。</p>
<p>〔公開の審議〕 岡教育長</p>	<p>本日の会議日程について、非公開の審議が適当な案件は無いと考えるが、意見を伺いたい。</p>
<p>岡教育長</p>	<p>採決する。全案件について、公開することに賛成の委員は、挙手をお願いします。</p> <p>(全員挙手)</p>
<p>岡教育長</p>	<p>全員賛成により、全案件を公開とする。</p>
<p>日程第1 前回会議録承認</p>	
<p>岡教育長</p>	<p>9月29日開催の平成28年9月定例教育委員会会議録を承認することに異議があるか。</p> <p>(異議なしの声)</p>
<p>岡教育長</p>	<p>異議なしと認め、前回会議録を承認する。</p>
<p>日程第2 教育長報告</p>	
<p>岡教育長</p>	<p>「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第13条第2項では、教育長に事故があるとき、または、教育長が欠けたときは、あらかじめ、その指名する委員がその職務を行うと定めており、教育長に事故がある場合などに事務に支障を来すことがないように、あらかじめ委員の中から職務代理者を指名することとしている。</p> <p>この規定に基づき、森委員を第一職務代理者、泉委員を第二職務代理者として指名したので、報告する。</p>

日程第3 事務局報告

(1) 事業・行事等報告について

○ 前回会議（H28.9.29）以降の事業・行事報告（主なもの）

9月29日（木）	校長・園長会
10月 6日（木）	熊本県市町村教育長研修大会
7日（金）	熊本大学教育学部諮問会議
11日（火）	熊本地震からの復旧・復興に関する調査特別委員会
14日（金）	平成28年度第10回九州小学校生活科・総合的な学習教育研究協議会研究大会「熊本大会」
15日（土）	熊本地震合同慰霊祭
16日（日）	龍田西小学校開校式
18日（火）	熊本市中体連駅伝競走大会
20日（木）	第53回九州地区肢体不自由教育研究大会熊本大会
22日（土）	第10回「わたしのまちの〇と×・熊本」環境フォトコンテスト表彰式
25日（火）	校長・園長代表者会

○ 今後の予定（主なもの）

10月28日（金）	第45回熊本県学校図書館研究大会熊本大会 第65回九州地方放送教育研究大会熊本大会・全体会
29日（土）	熊本市小体連陸上競技大会 現旧校長園長懇談会
11月 1日（火）	心かがやけ月間 あいさつ運動
2日（水）	熊本国際スポーツ大会実行委員会設立総会
9日（水）	退職校長会との懇談会

日程第4 議 事

・議第53号 平成29年度教育委員会事務局等職員（教職員を除く。）異動一般方針について

《緒方教育政策課長 提出理由説明》

西山委員

女性職員の登用について数値目標はあるか。

緒方教育政策課長

数値目標については、市が定める方針の中で、一般行政職に

<p>西山委員</p>	<p>における管理職の女性割合を10%以上とし、全職種における管理職の女性割合を13%以上、教育職における管理職の女性割合を16%以上にすることを目標として掲げている。</p> <p>なお、教育委員会事務局の職員構成の中で見ると、主査級以上全体の女性職員の登用率としては23.8%、前年度は24.9%であったことから、1%ほど減っていることになる。また、職務の級別に見ると、課長級が前年度の18.8%から10.5%と8.2%ほどの減、主査級では29.5%から28.9%と0.6%の減となっているが、主幹級においては18.4%から19.6%と1.1%ほどの上昇となっている。</p> <p>国の方針としては女性の登用を進めるということになっていることから、特に幹部職員への登用も図っていただきたい。</p> <p style="text-align: center;">〔採決〕 【原案どおり承認された】</p>
<p>・議第54号 平成29年度教職員異動方針について</p>	
<p>西山委員</p> <p>木榎教職員課長</p> <p>小屋松委員</p> <p>木榎教職員課長</p>	<p style="text-align: center;">《木榎教職員課長 提出理由説明》</p> <p>大都市圏においては副校長や教頭になりたがらない教員が増えているという話も聞くが、熊本市の場合はいかがか。</p> <p>管理職の任用については登用の試験を実施しているところであるが、比較的多数の方から応募をいただき、受験していただいている。現時点では、「なりたがらない」という状況にはないと考えている。</p> <p>教職員の転任については、資料4-4頁の2のような規定だけでなく、もっと具体的な個々の教員の問題等までを考慮した上で異動を実施しているか。学校も一つの社会であり、内部での人間関係も色々あると思う。そういった情報を汲み上げる機会も必要だと考えるがいかがか。</p> <p>例年、校長面接等を実施しており、学校の中の実情等についても一つ一つ聞き取りを行った上で、対応させていただいている。また県との人事交流においても、当該教職員に関する情報について県から提供を受け、異動を実施しているところである。</p>

	<p style="text-align: center;">〔採決〕 【原案どおり承認された】</p>
<p>・議第55号 熊本市放課後子ども総合プラン運営推進委員会委員の委嘱について</p>	
	<p style="text-align: center;">《平山青少年教育課審議員 提出理由説明》</p> <p style="text-align: center;">〔採決〕 【原案どおり承認された】</p>
<p style="text-align: center;">日程第5 報 告</p>	
<p>・報告（1） 平成28年第3会定例市議会報告について</p>	
<p>泉委員</p>	<p style="text-align: center;">《松永教育総務部長、深水学校教育部長 報告》</p> <p>まず1点目に、資料6－3頁にある教職員のメンタルケアについて、地震から半年が経過し、自分自身も医師として、メンタル不調者が増えて来ているなどということを日々実感しているところである。今後、教職員について、ヒアリング等の計画が何かあるか。</p> <p>2点目に、資料6－7頁にある不登校対策について、本年度から配置されている不登校対策サポーターの具体的な活動事例等、何か分かっていることがあったら、教えていただきたい。</p>
<p>木櫛教職員課長</p>	<p>1点目の教職員のメンタルケアについては、9月にあらためて第2回目のアンケートを実施したところである。なお、アンケートの内容は5月に実施したものと同様である。回答者数は前回よりも増えているが、心身の不調やPTSDの傾向がある者の割合は約4.6%となり、第1回目の6%に比べて、割合としては減少したという状況である。</p> <p>ただし、5月から引き続いて同じ者が症状を訴えているケースや、今回のアンケートで新規に該当した者等がいることから、引き続き、学校問題対応の相談事業の活用、カウンセラーへの相談等の勧奨といった対応を行っていきたいと考えている。</p>
<p>橋爪総合支援課長</p>	<p>2点目の不登校対策サポーターについてであるが、現在、2つ目の中学校区に派遣中である。当該中学校区には小学校2校、中学校1校があるが、それぞれ3日間ずつ派遣する第1クールを終えて、その状況について報告を受けているところである。</p>

<p>西山委員</p>	<p>なお1つ目の中学校区においては、授業参観を行い「分かる授業」「支持的な学級集団」という点について指導等を実施した他、不登校の子ども達への対応についての助言や、校内研修で不登校防止に関する研修の講師を務めるなど、組織を変える取組を行ったところである。</p>
<p>木櫛教職員課長</p>	<p>今回の質疑で出た教職員のメンタルケアとは、震災の影響を受けたものについてであると思うが、それとは無関係に教育現場での様々な問題によってメンタルの問題を抱えてしまった教職員は増えているか。また対応はどのように行っているか。</p>
<p>出川委員</p>	<p>メンタルの不調等の病気により休職にまで至った教職員の人数については、今年度の分はまだ集計が出来ていないものの、昨年度までの推移を見ると、平成25年度が21名、うち精神的な疾患による者が12名、26年度が20名のうち11名、27年度が25名のうち16名となっており、例年、病気による休職者のうち5～6割はメンタルの不調によるものであるという状況である。傾向としては、増加とまではいかないものの、一定数は出ているところである。</p> <p>対策としては、先ほど申し上げた学校問題対応相談事業ということになる。これは、対象となった教職員にまずは市の保健師が接触し、必要に応じて、本市が委嘱している臨床心理士、あるいは精神疾患の専門家のカウンセリングへ繋げるというものである。これに加えて、今年度から市全体として「ストレスチェック」という制度を新たに始めることとなっており、11月の実施に向けて準備を進めているところである。</p>
<p>橋爪総合支援課長</p>	<p>資料6～8頁「学校教育コンシェルジュ」については、まだ始まったばかりの取組であるため、7月～8月で62件の相談という数字が多いか少ないか判断できないが、今までの相談事業と違い学校教育コンシェルジュだからこそ効果が上がった点等はあるか。また、「学校に出向き対応している」とは、具体的にはどのようなことか。</p> <p>学校教育コンシェルジュは、学校と児童生徒・保護者との間で中立的な立場に立ち、双方の意見を聞いて、より良い解決策を探る役割を担っており、必要に応じて、SSWと情報を共有しながら、教育の専門家として管理職に意見を述べ、指導、助</p>

平成28年10月 教育委員会会議録（要旨）【10月27日（木）】

	<p>言等を行っている。</p> <p>なお、「学校に出向き対応している」とは、先にお話したように学校と児童生徒・保護者の双方の意見を聞き、アドバイスや調整を行っていくため、実際の話し合いの場に同席することがあるということである。</p>
<p>・報告（2） 平成29年度熊本市立学校教員採用選考試験の結果について</p>	
	<p>《木櫛教職員課長 報告》</p>
西山委員	<p>中学校教諭等について、教科によって倍率が著しく異なっているが、これは採用者数が退職者数によって決まるため、年度によって大きく変わるものと理解してよいか。</p>
木櫛教職員課長	<p>その通りである。</p>
<p>・報告（3） 平成28年度熊本市教職員教育功労表彰について</p>	
	<p>《木櫛教職員課長 報告》</p>
<p>・報告（4） 平成29年度熊本市立学校教職員の再任用について</p>	
	<p>《木櫛教職員課長 報告》</p>
西山委員	<p>再任用される教職員は、定年退職する教職員のうち何割程度か。</p>
木櫛教職員課長	<p>今年度の実績で言うと、退職者の8割程度が再任用されている。</p>
西山委員	<p>再任用の人数と教員採用の人数は、何か連動等しているか。</p>
木櫛教職員課長	<p>定年退職等による次年度の欠員数と再任用の人数とを見越した上で、次年度の新規採用の人数を決定している。</p>
<p>・報告（5） 平成28年度（第52回）熊本市学校環境緑化コンクールについて</p>	
	<p>《川上指導課長補佐 報告》</p>

<p>・報告（6） 平成さくら支援学校の教科書の採択について</p>	
	<p>《城門特別支援教育室長 報告》</p>
泉委員	<p>資料11-2頁において「無償配布ではなく」とあるが、生徒が全て自費で購入するということか。</p>
城門特別支援教育室長	<p>基本的には高校であるため本人の負担であるが、世帯の所得に応じて就学奨励費の受給は出来る。</p>
森委員	<p>普通高校の場合には、各校で選定し校長が採択希望を提出したものを、教育長が決裁するという手順で採択を行っているが、特別支援学校の場合は、これとは異なる手順となるのか。具体的にはどのような手順で採択を行うのか。</p>
城門特別支援教育室長	<p>基本的には学校が開校した後は校長が採択希望を提出するが、採択基準については教育委員会会議で報告を行う。</p>
森委員	<p>採択基準のみ教育委員会会議で審議を行い、その後の選定は校長が行うということであれば、普通高校と同様の手順ということか。</p>
城門特別支援教育室長	<p>その通りである。</p>
<p>・報告（7） 平成28年度新体力テスト結果について</p>	
	<p>《森田健康教育課長 報告》</p>
西山委員	<p>資料12-7頁に一日あたりの睡眠時間と体力合計点の関係について記載があるが、睡眠時間が6時間未満の児童は全体の何%ほどいるのか。</p>
森田健康教育課長	<p>手元に数値が無いので、後ほどご報告させていただく。</p>
西山委員	<p>小学生で6時間未満しか眠っていない児童がいるということは驚きであり、健康上問題があるのではないかと思う。この状況を改善するために何らかの取組がなされるべきと考える。</p>

平成28年10月 教育委員会会議録（要旨）【10月27日（木）】

<p>小屋松委員</p>	<p>運動部活動とスポーツクラブの違いは、学校が実施するものが運動部活動、学校外の活動がスポーツクラブという認識でよいか。</p>
<p>森田健康教育課長</p>	<p>本市においては、小学校4年生以上が各学校で実施されている運動部活動に参加することができるかと定めている。この学校で実施しているものを運動部活動、それ以外の社会体育をスポーツクラブとしている。</p>
<p>小屋松委員</p>	<p>運動部活動とスポーツクラブの比重としては、スポーツクラブへ参加する児童・生徒が増えて来ている傾向等は見られるか。</p>
<p>森田健康教育課長</p>	<p>その点について詳細に分析を行ってはいないが、種目によってはスポーツクラブへの参加が若干増えて来ている傾向にあるものもあると思われる。</p>
<p>出川委員</p>	<p>この結果については学校へ提供し、何か対策が取られているか。</p>
<p>森田健康教育課長</p>	<p>この結果については、各学校へ個人ごとの結果を全て返しており、個別の指導に役立てていただいている。</p>
<p>出川委員</p>	<p>資料12-7・8頁にある児童生徒の「運動習慣・生活習慣・食習慣について」の結果を、保護者に対して情報提供する等しているか。</p>
<p>森田健康教育課長</p>	<p>現在のところ全校一律で保護者に対する情報提供というものは行っていないが、担任教員によっては、「どのような傾向があった」というような、この結果に関する通知を、保護者に向けて出しているところもある。</p>
<p>出川委員</p>	<p>この点については、家庭との連携が非常に重要と思われるため、通知等、家庭への連絡を何か考えていただくと良いのではないかと考える。</p>
<p>森田健康教育課長</p>	<p>ご指摘の通り、生活習慣や食習慣等、家庭内での生活環境が体力に影響を及ぼしていると考えられるため、可能な限り保護者に対しても情報提供が行えるように、学校へ指導してまいり</p>

平成28年10月 教育委員会会議録（要旨）【10月27日（木）】

<p>〔閉会〕 岡教育長</p>	<p>たい。</p> <p>本日の日程は全て終了したので、平成28年10月の定例教育委員会会議を閉会する。</p>
----------------------	---